

設 計 説 明 書

1 設置者等の概要

| 項 目 | | 内 容 | 備 考 | |
|------------|----------------------|----------------------------------|-------|--|
| 設置者 ※ | (ふりがな) | かぶしきがいしゃ〇〇〇〇 | | |
| | 氏名(法人の場合は事業者名) | 株式会社〇〇〇〇 | | |
| | 代 表 者 | 役職 | 代表取締役 | |
| | | (ふりがな) | 〇〇 〇〇 | |
| | 氏名 | 〇〇 〇〇 | | |
| | 住所 | (〒〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇 | | |
| | 電話番号 | 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 | | |
| F A X 番号 | 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 | | | |
| 管理者 ※ | (ふりがな) | かぶしきがいしゃ△△△△ | | |
| | 氏名(法人の場合は事業者名) | 株式会社△△△△ | | |
| | 担 当 者 | 役職 | 技術課長 | |
| | | (ふりがな) | △△ △△ | |
| | 氏名 | △△ △△ | | |
| | 住所 | (〒△△△-△△△△) △△県△△市△△町△丁目 | | |
| | 電話番号 | △△△-△△△-△△△△ | | |
| F A X 番号 | △△△-△△△-△△△△ | | | |
| メールアドレス | △△△_△△△@△△△.C O. j p | | | |
| 土地所有者 ※ | (ふりがな) | かぶしきがいしゃ□□□□ | | |
| | 氏名(法人の場合は事業者名) | 株式会社□□□□ | | |
| | 担 当 者 | 役職 | 代表取締役 | |
| | | (ふりがな) | □□ □□ | |
| | 氏名 | □□ □□ | | |
| | 住所 | (〒□□□-□□□□) □□県□□市□□町□丁目 | | |
| | 電話番号 | □□□□-□□□□-□□□□ | | |
| F A X 番号 | □□□□-□□□□-□□□□ | | | |

代理人に委任しない場合は、担当者の氏名、連絡先等を記入する。

注意 ※印の欄は法人の場合に記載すること。

2 事業区域の概要

| 項目 | 内 容 | | | |
|----------------|----------------|---|--|--|
| 事業名称 | 〇〇市〇〇町太陽光発電所 | FIT 法認定時の名称などを記載する。 | | |
| 面積 | 〇〇〇〇㎡（うち増設分 ㎡） | | | |
| 事業区域 にチェック) | 地名地番 | 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地〇、〇〇番地〇 (事業区域のすべての地番を記載すること) | | |
| | 禁止区域 | 法令及び規制区域 | 許可等の有無 | |
| | | 砂防法 ・砂防指定地 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | | 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 ・急傾斜地崩壊危険区域 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | | 地すべり等防止法 ・地すべり防止区域 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | | 森林法 ・保安林 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | | 農業振興地域の整備に関する法律 ・農業振興地域計画に定める農用地 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | | 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律 ・土砂災害特別警戒区域 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | | その他 埋蔵文化財保護法 宅地造成規制法 | 条例の禁止区域以外にも許可が必要な法令があれば記入する。 | |

※事業区域に禁止区域を含める場合、証明証を添付すること。

※該当しない場合は無にチェックをすること。

3 工事の概要

| | | |
|------|------------------|--|
| 施設概要 | 工事種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 修理 <input type="checkbox"/> 改造 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 事業区域の面積変更 |
| | 設置形態 | <input type="checkbox"/> 平地 <input checked="" type="checkbox"/> 斜面地 <input type="checkbox"/> 水面 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 事業地所有 | <input checked="" type="checkbox"/> 自己所有地 <input type="checkbox"/> 借地 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 従前の土地 | <input checked="" type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 田畑 <input type="checkbox"/> 宅地 <input type="checkbox"/> 雑種地 <input type="checkbox"/> ため池 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 発電出力 | 1,100kw (パワーコンディショナーの最大出力 1,000kw) |
| | 太陽電池モジュールの水平投影面積 | 1,000㎡ (増設等部分 ㎡) |

4～7については、設置状況により、当該項目や適合状況が異なるため、設計の概要欄は、記載例を参考に、施設基準に適合している事項について、できるだけ具体的に記入すること。

4 景観及び生活環境の保全に関する事項

| 設計の項目 | 施設基準の概要 | 設計の概要（施設基準への適合状況） | |
|---------------|--|-------------------|---|
| | | 適／不適 | 設計の概要（考え方及び根拠となる数値等を記入してください。） |
| (1) 反射光 | 太陽電池モジュールは、反射光が周辺環境を害することのないよう、低反射 | 適 | 低反射性の太陽電池モジュールを使用する。 (別紙資料参照) |
| | 別紙の資料等で詳細に記載している場合はその旨を記載する。 モジュールの設置及び傾斜角度は十分配慮して設置されているか。 | 適 | 反射光が周辺の宅地に影響しない配置とする。 (反射光影響予測図を参照) |
| (2) 色彩 | 太陽光発電施設に係る工作物の色度は、低彩度のものであるか。 | 適 | 架台（彩度 2 程度）、太陽電池モジュール（彩度 4 程度）、パワーコンディショナー（彩度 4 程度） |
| (3) 遮蔽措置 | 住宅地と隣接する場合、境界部分については、必要に応じ遮蔽措置が行われているか。 | 適 | 住宅側の境界部分には植栽を施し、周辺の住宅地からの景観上の遮蔽措置を行う。 |
| (4) 構造耐力上の安全性 | 工作物に対して適切な設計が行われているか。 | 適 | 電気事業法の技術基準及び「地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン 2019 年版」に基づいて設計し、構造耐力上の安全性を確認している。 |
| (5) 騒音・振動 | 太陽光発電施設の稼働音等が近隣住民及び周辺環境に影響を与えないよう、適切な措置が行われているか。 | 適 | パワーコンディショナー等は低騒音仕様の機器としている。また、事業区域の北東の住民に対して十分な離隔距離を確保し、騒音又は振動に配慮している。 |
| (6) 柵塀の設置 | 事業地の周辺に、容易に立ち入れないように、柵や塀が設置されているか。 | 適 | 関係者以外が施設内に入ることが出来ないよう、事業区域の外周にフェンス(H=1.5m)を設置する。 |
| (7) 離隔距離 | 感電するなど事故が起きないように柵若しくは塀の間に適切な距離が確保されているか。 | 適 | 感電事故を防止するため、事業区域の外周に設置したフェンスから工作物まで 2m 以上の離隔を確保している。 |
| (8) 森林の保全 | 樹木の伐採は必要最低限か。 | 適 | 施設設置に必要な最小限の範囲とする。 |

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| | 事業区域内に現存する森林等について、おおむね25%以上の森林等が保全されているか。 | 適 | 事業区域内の現存森林面積 900 m ² 保全する森林面積 300 m ² 300 m ² ÷ 900 m ² × 100 = 33% > 25% (森林の保全割合 33%) |
| (9) 水面の景観 | 水面に設置する太陽電池モジュールの水平投影面積が、水面の面積のおおむね50%以下であるか。 | 一 | (例1) 水面への設置なし。 |
| | | 適 | (例2) 1,000 m ² ÷ 2,500 m ² = 0.4 (水面に対する割合 40%) |

該当しない項目は「一」とする。

5 事故等の防止に関する事項

| 設計の項目 | 施設基準の概要 | 設計の概要（施設基準への適合状況） | |
|-----------------|---------------------------------|-------------------|---|
| | | 適／不適 | 設計の概要（考え方及び根拠となる数値等を記入してください。） |
| (1) 地盤の勾配 | 太陽光発電施設が設置される地盤の勾配は、30度以下であること。 | 適 | 太陽光パネル設置面の勾配を 30度以下とする。 (地盤の最大勾配 10%) |
| (2) 土砂の流出に対する計画 | 切土及び盛土で生じた法面に対して、適切な保護を行っているか。 | 適 | 切土で生じた法面に対して種子吹付けを行うとともに、一部張芝により法面の保護を行う。 |
| (3) 排水計画 | 雨水等を有効に排水するための計画がとられていること。 | 適 | 雨水の排水については流量計算により事業区域からの放流先の断面にあわせて適切な排水構造物を設置します。 流量計算書を添付すること。 |
| (4) 標識設置 | 太陽光発電施設の異常の発見時及び緊急時に連 | 適 | 施工完成后、事業区域に隣接している道路の通行者から見やすい場所に標識を設置します。 |

宅地造成規制法などの他法令の許可申請により確認済の場合は、添付省略可

6 維持及び管理に関する事項

| 設計の項目 | 施設基準の概要 | 設計の概要（施設基準への適合状況） | |
|---------|--|-------------------|---|
| | | 適／不適 | 設計の概要（考え方及び根拠となる数値等を記入してください。） |
| (1) 除草等 | 事業区域からの建設残材の飛散や雑草の繁茂等による周辺環境への影響がないよう管理すること。 | 適 | 設置工事や修繕による建設残材については速やかに撤去します。 事業区域内の雑草については除草作業を5月と10月に行います。 |

| | | | |
|---------|----------------------|---|--------------------------|
| | | | また、必要な場合は随時、除草を行います。 |
| (2) 破損等 | 破損した太陽光発電施設を放置しないこと。 | 適 | 工作物が破損した場合はすみやかに修繕を行います。 |

7 廃止後において行う措置に関する事項

| 設計の項目 | 施設基準の概要 | 適／不適 | |
|---------------|--|------|--|
| (1) 撤去までの維持管理 | 太陽光発電施設の廃止後は、当該施設の撤去までの期間において、適切な維持管理を行うこと。 | 適 | 太陽光発電施設を廃止した後、工作物の撤去を行うまでは、老朽化した工作物の飛散防止や破損による環境汚染等に対して必要な措置を行います。 |
| (2) 廃棄物の処理 | 太陽光発電施設の撤去及び処分に当たっては、関係法令等を遵守し、太陽光発電施設の廃止後、速やかに行うこと。 | 適 | 撤去後の工作物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令に従い、適正に廃棄します。 |